

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語ⅡB
科目基礎情報					
科目番号	02221	科目区分	一般 / 必履修, 選択必修 (国)		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科	対象学年	2		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	『精選現代文B』(三角洋一他著 東京書籍刊) / 『国語総合 改訂版』(井島正博他著 筑摩書房刊)、『高校漢字の総練習(四訂版)』(野元菊雄監修 三省堂刊)、『常用国語便覧』(加藤道理他編著 浜島書店刊)、辞典等				
担当教員	山口 比砂				
到達目標					
(ア)常用漢字の音訓を正しく読み書きできる。語彙の意味を理解し、思考や表現に活用できる。 (イ)文学的な文章に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を表明できる。 (ウ)論理的な文章の構成や展開を的確に捉え、キーワード・キーセンテンスに着目して要約できる。 (エ)論理的な文章に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて、自分の意見を表明できる。 (オ)課題に応じ、他者の立場を尊重しつつ根拠に基づく議論を行い、自分の考えや集団としての思いを整理できる。 (カ)実用的な文章(はがきなど)を相手や目的に応じた体裁や語句をもちいて作成できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	常用漢字の音訓を正しく読み書きできる。語彙の意味を理解し、思考や表現に活用できる。	常用漢字の音訓を正しく読み書きできる。	常用漢字の音訓を正しく読み書きできない。		
評価項目(イ)	文章の特質にあわせた読解を行い、内容に即した理解をしたうえで、自分の意見を表明できる。	文章の特質にあわせた読解を行い、内容に即した理解ができる。	文章の特質にあわせた読解を行い、内容に即した理解ができない。		
評価項目(ウ)	実用的な文章(はがきなど)を相手や目的に応じた体裁や語句をもちいて作成できる。	実用的な文章(はがきなど)の基本的な作成方法を理解できる。	実用的な文章(はがきなど)の基本的な作成方法を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
本校教育目標 ⑤					
教育方法等					
概要	現代文と古典を取り扱う。現代文では小説・評論文を取り上げ、読解力、鑑賞力を養成するとともに、自分を含めた人間存在に対する理解を深め、社会一般に対する判断力、批判力を身につける。古典は日本あるいは中国の前近代の代表的な作品などを取り上げ、当時の人々の物の見方・考え方などを学ぶ。常用漢字については昨年度使用したテキストを継続して書き取りの演習を行う。				
授業の進め方と授業内容・方法					
注意点	前学期に引き続き、漢字書き取りの演習を行う。				
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
後期	1週	ガイダンス(到達目標の提示と注意点の確認)	到達目標と注意点を理解できる。		
	2週	文学的な文章の読解1(物語構造の考察)・常用漢字の学習	文学的な文章の物語構造を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。		
	3週	文学的な文章の読解2(場面や登場人物設定の考察)・常用漢字の学習	文学的な文章の場面や登場人物設定を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。		
	4週	文学的な文章の読解3(効果的な表現技法の考察)・常用漢字の学習	文学的な文章の効果的な表現技法を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。		
	5週	文学的な文章の読解4(登場人物の心理描写の考察)・常用漢字の学習	文学的な文章の登場人物の心理を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。		
	6週	文学的な文章の読解5(主題の考察と意見文の作成)	文学的な文章の主題を考察し、自分の思いや考えを整理して表明することができる。		
	7週	論理的な文章の読解1(語句の読み・意味の確認 文章構成の把握)・常用漢字の学習	論理的な文章の基礎知識と構成を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。		
	8週	論理的な文章の読解2(キーワード・キーセンテンスの把握 各段落の要旨)・常用漢字の学習	論理的な文章の各段落の要旨を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。		
	9週	論理的な文章の読解3(各段落の要旨の把握・要約)・常用漢字の学習	論理的な文章の各段落の要旨を把握し、要約できる。常用漢字を正しく読み書きできる。		
	10週	論理的な文章の読解4(主題の考察・意見文の作成)	論理的な文章の主題を考察し、自分の思いや考えを整理して表明することができる。		
	11週	はがきの書き方(形式/内容/注意点)・常用漢字の学習	適切な敬意表現を用い、形式に則ってはがきを書くことができる。		
	12週	前近代の文章の読解1(時代・文化背景の理解 語句の理解)・常用漢字の学習	日本あるいは中国の前近代の文章の基礎知識を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。		
	13週	前近代の文章の読解2(主題の把握)・常用漢字の学習	日本あるいは中国の前近代の文章の主題を理解できる。常用漢字を正しく読み書きできる。		
	14週	前近代の文章の読解3(鑑賞)	日本あるいは中国の前近代の文章を鑑賞できる。常用漢字を正しく読み書きできる。		
	15週	まとめ(学習内容・学習成果の振り返り)	学習内容・学習成果を振り返り、整理できる。		
	16週				
評価割合					
	中間試験	定期試験	課題	合計	
総合評価割合	30	45	25	100	
基礎的能力	30	45	25	100	